

【資料】

8月29日、30日教養科目：公共空間の再生

倉敷版パーキング・ディ（駐車場を憩いの空間へ）

SDGs到達点：（1）市民協働 （2）中心市街地活性化 （3）地域課題の解決

岡大の役割：（1）日本初！先進的まちづくり事例の創出 （2）地域のネットワークを強化する



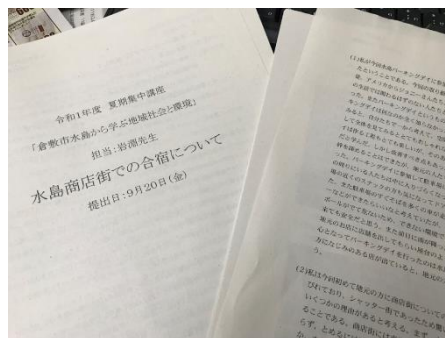
ニシナ本店の駐車場を活用

地元商店街、団体、大学のチーム

- （1）学生は、空間づくりを検討
- （2）ワークショップから課題を知る
- （3）実践的な学びと社会貢献

【概要】

8月29日（木）～8月31日（土）までの三日間、学生24名（（岡大20名、熊本大学3名、金沢大学1名）と教職員4名が参加した。スーパーマーケット・ニシナ本店跡地を使ったユニークなまちづくりを行った。Jonny Fain氏（ポートランド市公園局）の指導により、パーキングディを行った。パーキングディは、車中心の空間を人間が居心地の良い空間に変えることで、まちづくりに楽しく触れるイベントである。みずしま財団は、公害の経験を講義し、現地では裁判闘争の記憶を学生たちに説明した。その後、萩原工業のブルーシート工場を見学した後、パーキングディに取りかかった。合宿終了後、レポートを提出し、その内容はみずしまのまちづくりに活かされるようにした。



【当日の様子】

8月29日(木)

9：30～12：00 レクチャー「水島の発達史～地域開発、公害から環境へ～」

講師：岩淵泰（岡山大学地域総合研究センター）、塩飽敏史（みずしま財団）

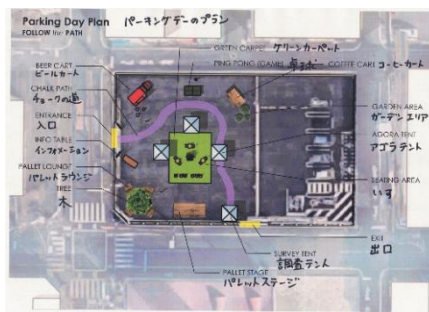
13：00～14：30 ポートランド版・パブリックスペースの作り方

講師：Jonny Fain氏

15：10～16：00 商店街の楽しみかた

講師：前田芳男（岡山大学地域総合研究センター）

16:10~16:30 Park Dayに向けて



8月30日(金)

9:30~11:10 水島の公害問題を学ぶ

講師：太田映知氏(倉敷市公害患者と家族の会会長)

11:20~12:30 水島商店街のエトセトラ

講師：藤原義昭氏(水島商店街振興連盟会長)

14:00~16:00 水島の産業を学ぼう ~萩原工業(株)工場見学~

案内・解説：吉田淳一氏(萩原工業(株)取締役)

17:00~20:30 パーキングディへの参加



8月31日(土)

9:00~11:00 振り返りの会

11:30~12:30 水島環境クルージング



2-3 ミズシマ・パーキングデイの実施（8/30）

報告：みずしま滞在型環境学習コンソーシアム 副会長 古川 明

【概要】

本企画は、水島のまちを楽しく居心地のよいエリアにしていこう！という趣旨から、3年前に取り壊しとなった水島商店街発展の象徴「仁科百貨店跡地」を対象とし、街づくりの第一歩を記す行事として立案したものでしたが、相前後して、「みずしま滞在型環境学習コンソーシアム」のモデルツアーに織り込もうと言う案が浮上してきたことから、岡山大学地域総合研究センターのツアーカリキュラムの1つとして、岡山大学他、熊本大学、金沢大学の学生さん達の参加を得て実施することとなりました。当日は、岡山大学の研究員として、アメリカオレゴン州ポートランドから来日中のサウミヤ・キニさんと、本企画の総合プロデュースを手掛けてくれた、同じくポートランド市公園局のジョニー・フェインさんも参加、準備した使用済みパレットを巧みに組み合わせて、素敵な空間を演出、日が落ちてから、ロマンティックな雰囲気の中で、立ち寄ってくれた商店街の人たちも立ち寄り、学生さん達と親しげに交流する場面も見られるなど、豊かな時間を演出することができました。次回につながる予感を感じる素晴らしい行事となりました。

